



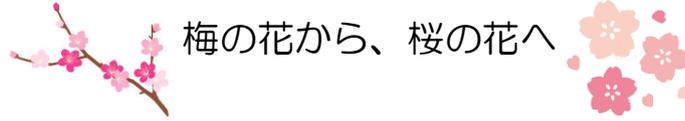
学校だより

令和8年1月30日

府中市立南町小学校

No. 10

校長 渡邊 和子



梅の花から、桜の花へ

校長 渡邊 和子

1月24日（土）の「創立50周年記念展覧会（書き初め展・学校公開）」は、延べ747名の保護者、地域の方をお迎えし、盛況裏に開催することができました。今回の「展覧会」につきましては、周年行事として、地域の方、保護者の方の力作も展示させていただきました。いつもの体育館が、華やかな美術館となり、全校児童と保護者の皆様、地域の皆様と共に作品を鑑賞することができ、明るく豊かなひとときを共有できました。子供たちの作品制作への頑張りについては、学校だよりの2、3ページに掲載しましたので、ご覧いただければ幸いです。

「展覧会」への様々なご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ここ数日「大寒」らしい寒波がやってきて、寒い日が続いていますが、子供たちの使っている昇降口の向かいのフェンスの側に斜めに立っている梅の木が、いつの間にかたくさんの白い花を咲かせていることに気が付きました。次の日、校庭の線路際の梅の木の様子を見に行くと、ピンク色の蕾がふわっと膨らんでいて、直に咲き出す様子でした。その後、正門の白塀の奥の桜の木にも近寄って枝の様子を見てみました。まだまだ堅そうな新芽（蕾）ですが、枝々に付いているのを見ることができました。寒さの中でも、季節は確かに巡っていることを感じずにはられません。そして、この頃になると思い出す「桜の木」の話があります。

桜の木は、秋の終わりにはその葉が全て枯葉となり、一枚残らず葉を落とし、枝だけが寒空に伸びているようになります。桜の木は、枯れ木となり死んでしまったかのように見えますが、実は、春に向かって力強く生きて活動しているのだ、というお話です。

布に色を付けるお仕事をしている著名な染色家が書物に著されたり、テレビの番組で紹介されたりしているので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

今、枯れたように見える桜の木の根っこでは、土の中からたくさんの栄養を吸収しているところです。そして、寒い冬から春になる前の木の幹の中では、ものすごい勢いで春の準備がなされています。春が近づく頃には、木の肌をよくよく見ると、薄っすら桜色に見えることもあるそうです。その薄っすら桜色に見える桜の木の樹液からは、それは見事な桜色の染色ができるのだそうです。

枯れたように見える桜の木ですが、実は、見えないところでぐんぐんと燃えるような営みがなされている。だからこそ、春になって一斉に見事な桜の花を咲かせることができるのだということ。このことを知ってから、私は、桜の木の幹をよく見るようになりました。薄っすらと桜色になっていないかと。

さて、2月を迎え、いよいよ学年末が近付いてまいりました。進級、進学を控え、楽しみな気持ちと、大丈夫かなと不安な気持ちが入り混じって落ち着かなくなるときです。学校生活のリズムをしっかり整えて、「健康・安全第一」に一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



50周年記念展覧会



50周年という記念すべき年の展覧会

「アートでつながる きらめく世界」

をテーマに取り組んだ子供たちの作品はいかがでしたでしょうか。保護者、地域の皆様からも作品をお寄せいただき、彩り豊かな世界が体育館に広がりました。また、たくさんのご感想をいただき、誠にありがとうございました。

展覧会に向けた取組や学んだことなど、学年ごとに紹介いたします。



1年生

平面作品「カーテンを開けたら」では、あったらいいなと思う世界を想像してクレヨンと絵の具で表現しました。絵の具の水の量に気を付けて背景を塗ったり、柔らかい布を協力しながら切ったり、どの工程でも丁寧に作品を作り上げました。

立体作品「めしあがれ!とくせいべんとう!」では、工作用紙を切って、お弁当箱から作り始めました。食べてもらいたい相手を想像しながらお弁当箱の色を考えたり、こんなおかずがあったら喜んでくれそうだと考えたりしながら、お弁当のおかずを紙粘土で表現しました。

共同作品「光のシャワー」では、たこ糸にちぎったり切ったりしたキラキラ折り紙を貼り付けて、皆でつるしたときにキラキラする様子が光のシャワーに見えるように作りました。それぞれ切り方やちぎり方、貼り付け方を工夫して、楽しみながら仕上げました。



2年生



平面作品「ふしぎなたまご」では、色や模様を工夫してたまごをクレヨンで塗りました。割れ方を考えながらはさみを入れ、生まれてきたものを、大きくダイナミックに描きました。「たのしくうつつて」では、画用紙で主人公と脇役の2種類の動植物の絵を描き、それぞれ外側・内側の2種類の版を作りました。真ん中をくり抜いた外側の版にはローラーで、内側の版はたんぼを使って、カラーインクで採色しました。初めて使うローラーとたんぼでしたが、使い方・版を置く位置に気を付けて表現しました。

立体作品「まどから Say Hello!」では、作りたい形の窓を描き、はじめてのカッターに苦勞しながらも、慎重に切りました。好きな動物などを色鉛筆でていねいに描いて窓からのぞかせ、家のように立てました。共同作品「べったんバタフライ」は、蝶の羽を「デカルコマニー」という技法で作りました。画用紙を半分に折り、半分にインクをつけてペタンと閉じると、左右対称の蝶の羽ができます。周りを切って、色とりどりの蝶が舞っているように仕上げました。

展覧会の会場に入った瞬間、美術館のように様変わりした会場を見て、「すごい!」と声を上げていた3年生です。その後、自分たちや他学年の作品を鑑賞して、それぞれの工夫や良さをたくさん見つけて鑑賞カードに書いていました。

平面作品「にじみの世界」では、色と色がにじみあう瞬間や色の美しさ、広がりを感じながら描きました。絵の具とクレパスの使い方を工夫した作品となりました。「南町小探検隊」では、南町小に洞窟があったら...というテーマのもと、どんな洞窟かを考えました。動物や秘密の宝箱など思い思いに工夫をしていました。

立体作品「カラフルフレンズ」は、新聞紙で形づくりをしてからカラフルにお花紙を重ね、一緒にいて楽しい友達を作りました。「展覧会が終わってからも大切にしたい友達ができた!」と子供たちから声が上がりました。「太陽の塔」は力強さや生命を感じるもの、元気が出るものを工夫して表しました。昨年、大阪万博が開催されたことを記念して作った作品です。

3年生



4年生

平面作品「ゆめもようコラージュ」では、絵の具を使って、ビー玉転がし・デカルコマニー・段ボールスタンプ・スパッタリングなどの技法を学びました。ミニ画用紙にたくさん試し、思い思いの形に画用紙を切り幻想的な世界を創り上げていました。「まぼろしの花」では、「まぼろしとは何だろう?」と一人一人がイメージし、彫刻刀で彫り進めました。線の太さや切り口など、彫刻刀を使い分けながら、安全に気を付けて作品作りを行いました。

立体作品「ねがいをこめて!すてきなお面」では、自分の願いを考え、その願いが叶うお面を作りました。段ボールを切ったり、貼ったりして立体的になるように工夫していました。「コルクさんのひみつのすみか」では、コルクさんを主人公にし、ひみつのすみか作りをしました。木の枝や砂利、木くずなど自然の素材を使って制作しました。すみかの形や材料の使い方など、様々に工夫している様子が見られました。共同作品「つながりタウン」では、スポンジに絵の具をつけてスタンプしていき、道を作りました。どんな色やルートにするか、グループで話し合い協力しながら作製しました。どの作品に対しても真剣に取り組み、思い思いのすてきな作品を作り上げました。



5年生は『挑戦』と『工夫』を合言葉に、楽しみながらも粘り強く作品づくりに取り組みました。平面作品「新種発見!ダイナソーはここにいたよ」では、南町で新種の恐竜を発見したという設定のもと、オリジナルの恐竜の化石を制作しました。形だけでなく、色の塗り方や重ね方を工夫し、質感や迫力を表現する姿が見られました。「名前の道」では、自分の名前を道に見立て、平仮名・片仮名・アルファベットの中から表現方法を選び、グラデーションを意識して丁寧に仕上げました。

立体作品「電のこドライブ」では、電動系のこぎりの扱いに苦戦しながらも、粘り強く取り組む姿が印象的でした。「立ち上がれ せんのかたち」では、針金を曲げたりねじったりしながら、浮かんだイメージを形にしました。太さの違う針金を組み合わせるなど、一人一人の工夫が光りました。家庭科の「クッション」では、ミシンに緊張しつつも集中して作業を進め、フェルトを生かしたオリジナルデザインに仕上げました。共同作品「春夏秋冬パソル」は、各グループで制作した色とりどりの傘が会場を明るく彩り、学年の一体感を感じさせる展示となりました。制作を通して、表現する楽しさとやり切る達成感を味わうことができました。

5年生



6年生

6年生は展覧会においてガイド役という大切な役割を担いました。事前に他学年の児童や教員へインタビューを行い、作品に込められた思いや工夫、見どころを丁寧に聞き取り、その魅力をしっかりと理解した上で本番に臨みました。当日は来校された保護者や地域の方々に対して、相手の目を見て分かりやすく、そして堂々と作品の良さを伝える姿が見られました。最高学年として任されたこの仕事を、責任感と誇りをもって見事にやり遂げる6年生の姿は、大変頼もしく、学校の良い伝統を感じさせるものでした。

また、立体・平面作品ともに6年生らしく細部までこだわって丁寧に仕上げました。切り絵では用具を上手に使い、細かな表現に挑戦することができました。立体作品には一人一人の個性がよく現れ、家庭科で製作した巾着も学習の成果が感じられる出来栄でした。6年生の良さが現れた素晴らしい50周年記念展覧会でした。



平面作品「仲よし畑より」は、野菜の実物を見て、自分の描きたい野菜を決めました。鉛筆ではなく割りばしと墨を使って線を描くことも楽しみながら活動しました。野菜をよく見て、本物と同じように描くことを頑張りました。

立体作品「仲よしずし」は、教員が作った手本を見て、自分も作りたいという思いをもって楽しみながら工作しました。紙粘土に絵の具を混ぜる際には、あえて混ぜ過ぎないようにすることで脂ののった魚に見えるよう工夫しました。

4~6年生の「スウェーデン刺繍」は、細かい目をよく見て、針ですくいながら模様を作りました。糸の色も自分で決めて、色鮮やかな作品ができました。

「連合学芸会」で行った劇「サウンド オブ ミュージック」で使用した「アルプスの背景画」も展示しました。

6年生はガイド活動も頑張りました。緊張しましたが、慣れてくると仲よし学級以外の保護者の方にも、作品の説明をすることができました。

仲よし学級



2月の行事予定

◇下校時刻の目安を掲載します。保護者、安全ボランティア、地域の方々にお知らせし、下校時の見守りをお願いしています。
多少前後することはありますが、各学年の下校時刻は揃えるようにしますのでよろしくお願いいたします。

日	曜日	行 事 等	下校時刻の目安					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	(A) 全校朝会 安全指導 ブラバンコンサート(昼・放課後)	2:35	2:35	2:35	3:25	3:25	3:25
3	火	(A) 絵本の森	2:35	3:25	3:25	3:25	3:25	3:25
4	水	(B) 朝スポ 社会科見学(3年)	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15
5	木	(A) 委員会活動⑩ たてわり班長会議(朝)	2:35	2:35	2:35	2:35	3:30	3:30
6	金	(B) 図書集会 図書委員会⑩ 漢字検定(2:30~) 避難訓練⑩	2:15	2:15	2:15	2:15	2:15	2:15
7	土							
8	日							
9	月	(A) 全校朝会 読書旬間(始) おはなし会(2年) たてわり班活動⑧	2:35	2:35	2:35	3:25	3:25	3:25
10	火	(A) 絵本の森 三中学校説明会見学(6年) おはなし会(4年)	2:35	3:25	3:25	3:25	3:25	3:25
11	水	建国記念の日						
12	木	(A) クラブ活動⑫(3年クラブ見学) 50周年記念校内オリエンテーリング	2:35	2:35	3:45	3:45	3:45	3:45
13	金	(A) 新入生保護者説明会 受付14:00 開始14:30	1:15	1:15	3:25	3:25	3:25	3:25
14	土							
15	日							
16	月	(A) 全校朝会 研究授業(6年2組 下校2:35)	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15(6-1) 2:35(6-2)
17	火	(B) 絵本の森 おはなし会(3年)	2:15	3:05	3:05	3:05	3:05	3:05
18	水	(B) 小中連携の日	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15	1:15
19	木	(A) クラブ活動⑫ たてわり班活動⑨ セーフティー教室(1年・2年) おはなし会(6年)	2:35	2:35	2:35	3:45	3:45	3:45
20	金	(A) 保護者会(3年・4年・仲よし学級) 読書旬間(終) 薬物乱用防止教室(6年)	2:35	2:35	1:15	2:35	3:25	3:25
21	土							
22	日							
23	月	天皇誕生日						
24	火	(B) 絵本の森卒業企画(6年)	2:15	3:05	3:05	3:05	3:05	3:05
25	水	(B) 朝スポ	1:15	2:15	2:15	2:15	2:15	2:15
26	木	(A) 保護者会(2年・5年) おはなし会(1年)	2:35	1:15	2:35	3:25	2:35	3:25
27	金	(A) 保護者会(6年)	2:35	2:35	3:25	3:25	3:25	2:35
28	土							

●仲よし学級の下校時刻については、学級便り等でお知らせします。

●今後の状況により、学校行事の変更がある場合もあります。その都度お知らせいたします。